

スマイル

明生リハビリテーション病院季刊誌 Vol.11

Photo
狭山茶
茶畑

C ontents

- 2・3P 新入職員紹介
- 4P 3月20日 多摩湖駅伝大会、訪問リハビリ
- 5P 地域医療連携室かわら版、りらいふ通信
- 6P 第4回 山田達夫の健康コラム
- 7P 狭山茶について、介護百人一首
- 8P リハビリアルバム

新入職員紹介

Introduction of new staff

本年度も新たな仲間が増えました。
志をともにするスタッフの増員でますます皆様のリハビリをよりよいものにして参ります。



2階病棟
看護師
細淵 弘樹

初めまして。明生リハビリテーション病院に入職しました細淵弘樹です。看護師として2階病棟に配属されました。飯能看護専門学校卒業です。出身は東京の東村山で、現在は武蔵村山に住んでいます。回復期のリハビリ病院での経験が無いので戸惑いも多いとは思いますが、患者様が元気になって退院していく過程をサポートしていきたいと思っております。宜しくお願い致します。



3階病棟
看護師
小見野 智之

初めまして。4月より3階病棟に配属されました看護師の小見野 智之です。回復期リハの病院で働くのは初めてとなります。以前もリハビリスタッフと共に仕事をしていたが、これ程、多くのリハビリスタッフに囲まれながら働いたことは無いので、とても新鮮な経験をさせてもらっています。勤務が始まり数週間が経ちましたが、様々な職種が協力しあって患者様の退院を目指していくのが醍醐味だなと感じています。早くスタッフの一員として少しでも力になっていきたいです。これからも宜しくお願い致します。



3階病棟
看護師
菅原 君江

4月から明生リハビリテーション病院で働かせていただいております。菅原です。回復期のリハビリ病院で働くのは初めてで、少し不安もありますが、精一杯頑張りたいと思っております。宜しくお願い致します。



3階病棟
看護師
古賀 裕一

入社して1ヶ月が経ちました。まだまだ覚えることがたくさんあり、自分に余裕がなく一杯一杯の毎日です。あまりの余裕の無さに患者様に「具合が悪い」と逆に心配をされてしまい、患者様の前で疲れた表情をしていたのだと反省をしてしまいました。早く仕事を覚え、職場に慣れるよう頑張りたいと思っております。



リハビリテーション科
理学療法士
日置 正雄

私は以前介護の職に就いていましたが、リハビリに興味を持ち、理学療法士になりました。新人ではありますが、精一杯頑張らせていただきますので、宜しくお願い致します。



リハビリテーション科
理学療法士
魚住 順也

リハビリテーション科に配属になりました魚住 順也です。まだ未熟ですが、たくさんのごことを勉強して1日でも早く患者様の役に立つことができようになりたいと思っております。精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。



リハビリテーション科
理学療法士
有我 聖彦

早いもので、入社から10日が過ぎました。日々、新しい業務を理解するべく必死に見聞きして行動しています。一刻も早く仕事を覚え一人前になり、リハビリで多くの患者様と関わらせて頂き役立つ様に頑張ります。



リハビリテーション科
作業療法士
徳田 宏作

患者さんと一緒に退院後の生活の目標をお話ししながら、歩いていけるセラピストに成長できるように頑張りたいと思っております。色々ご迷惑をおかけすると思いますが、宜しくお願い致します。



リハビリテーション科
作業療法士
北井 智広

今年から作業療法士として働かせてもらいます。北井 智広です!! この中で一番顔が濃いようですが、この中で一番若手です。この若さを発揮して皆様のお役に立てるよう、頑張らせていただきます。宜しくお願い致します。



リハビリテーション科
言語聴覚士
小澤 夏紀

元氣と笑顔!!そして「初心忘れるべからず」をモットーに患者様のリハビリのお手伝いが出来たらと思います。身近な存在に感じて頂けると幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。



リハビリテーション科
言語聴覚士
田中 健太

5月より働かせて頂いております。言語聴覚士の田中 健太と申します。患者様により良い対応ができるように精一杯業務に取り組みさせていただきます。一生懸命努めますので、ご指導の程、宜しくお願い致します。



リハビリテーション科
言語聴覚士
庄司 拓斗

リハビリテーション科 言語聴覚士の庄司 拓斗と申します。まだ、言語聴覚士として半人前ですが、日々精進して、一人前になれるよう努力しています。院内で見かけた時は気軽に声をかけて下さい。



リハビリテーション科
言語聴覚士
若林 信一

小さなことを確実に妥協せず積み上げていきます。患者様とご家族の信頼をいただける様頑張っていきます。宜しくお願い致します。



地域医療連携室
石塚 紘平

初めまして。地域医療連携室相談員の石塚です。茨城出身で、趣味は野球・好物はあんこです。皆さんのリハビリがより良いものとなるよう、精一杯務めさせていただきます。

3月20日 多摩湖駅伝大会に参加しました。

リハビリテーション科
理学療法士 田村 公介

平成25年3月20日に東京都東大和市で開催されている多摩湖駅伝大会に明生リハビリテーション病院代表として2チーム参加しました。4人1チームで1人が7.24kmを走り、計28.96kmの駅伝コースで多摩湖を周回しアップダウン高低差のある非常に厳しいコースでした。しかし、リハビリテーション科課長や看護部長をはじめとしたスタッフの方々から応援もあり、また沿道に来ていた方からも声を掛けて頂いたおかげで、計233チーム参加中71位・155位と健闘することができました。

参加した8人は翌日・翌々日、又は3日後に全身筋肉痛となり、今まで以上に患者さんに優しくなれたかと思えます。今後も患者さん

と一緒に筋力トレーニングや歩行訓練に励み、来年度の大会では50位以内を目指したいと思えます。



訪問リハビリ Report of rehabilitation visits

訪問リハビリテーション
言語聴覚士 関 真奈美



こんにちは。平成25年2月より、訪問リハビリテーションのスタッフとなりました、言語聴覚士の関 真奈美です。

訪問リハビリでは初めてのことで、最初は期待よりも不安のほうが大きく戸惑うことばかりでしたが、少しずつ環境にも慣れ

始め、今では回復期とは異なるやりがいを見つけられているように感じています。

在宅復帰されてからは、日常生活自体がリハビリの役割を担っていると思います。失語症や構音障害によりコミュニケーションに問題を持った方においては日常での会話が機能の維持に繋がっており、他者と会話する機会が減少すれば回復期で獲得した能力は元に戻ってしまいます。そこで、維持期では回復期で獲得した能力の更なる向上を図るだけでなく、機能の維持が重要となってきて考えています。

よりよい在宅生活が送れるよう、生活の全体をとらえ利用者様やそのご家族様に寄り添ったリハビリやアドバイスを行っていきたいと思えます。

地域医療連携室かわら版 Information

私たちは、「人を思いやる気持ちで365日24時間患者様とともに取り組んでいきます」と「在宅支援も充実したリハビリ病院です」をモットーに、日々患者様やご家族と接しています。一度、当院を直接目で見ていただき、院内の雰囲気やリハビリへの思いを感じとって頂ければ、不安に思っていることも解消されるのではないのでしょうか？

当院の地域医療連携室では、当院で今後治療を希望される方、他の医療機関から当院に紹介された方、そして、当院での治療後も安心してお近くの診療所、病院で継続した治療が続けられるようお手伝いすることを活動としております。

ぜひ、お気軽に見学にいらしてください。

見学を希望の方は、明生リハビリテーション病院
地域医療連携室 石塚・高田までお電話ください。
TEL 04-2929-2220



りらいふ通信 Relife Info

◆リズム体操

今回よりりらいふで行っている活動のご紹介をしております。

りらいふではもの忘れの予防と健康促進を目的として作業療法士による運動療法を積極的にしております。

その中心として行っているのが**リズム体操**です。**リズム体操**は音楽のリズムに乗りながら行う有酸素運動です。**有酸素運動**とは、**酸素**を普段よりも多く取り込みながら行う、それ自体、楽しみながらできる運動です。充分に取り込んでいる**酸素**を使って、**体内の糖質や脂肪**をエネルギー源として燃焼することによって、ゆっくりとエネルギーを生み出します。また、**脳の血流**を増やし、**脳神経細胞を活性化**させることで、もの忘れの予防にも効果的です。ただし、運動は続けていかないと効果は持続できません。りらいふではこのリズム体操を毎日約1時間かけて行い、体力を

つけて頂きます。また、ご利用される時だけでなく、普段から体を動かす習慣をつけて頂けるよう自主トレーニングもご提案しております。

今回は芸術活動をご紹介します。





第4回 山田 達夫の健康コラム

一般社団法人巨樹の会
関東統括本部長

山田 達夫 (やまだ たつお)

一般社団法人巨樹の会 関東統括本部長
神経内科認定医
昭和23年生まれ 山梨県出身
昭和49年：東京医科歯科大学医学部卒業
平成 9年：福岡大学医学部神経内科学教室 教授
平成23年：社団法人巨樹の会 関東統括本部長に就任

回復期リハビリテーション病院と認知症

回復期リハビリテーションに勤務していると、リハビリテーションの効果を最大限に発揮させるために、その基盤にある問題を早急に評価し、それに即して治療計画を常時見直していくことの重要性を感じます。

問題とは(1)認知症、(2)感染症(褥瘡含む)、(3)低栄養や嚥下障害、(4)転倒であります。

もちろん他にも医療の質を決定する要因を列挙はできませんが、以上4つの問題要因を入院当初に必ず、しかも正しく評価して予防措置を講ずる意味を全職員が理解するために、具体的対策や実践結果まで掘り下げた学習活動が必要であると考えています。

医療の質を高めるとは、(A)安心安全な医療が実践できているか？ (B)最新の医学知識を反映した最善な医療が実践できているか？ (C)患者の価値観に対応した医療が行われているか？ の3つに対して結果をだすことであります。

私は、関東統括本部長として(A)の安心安全を関東各病院の中心的テーマとして、それぞれの病院が(1)~(4)の中からどれかを選択し、今年1年間のテーマとして現状分析から対策、実践と評価のプロセスを展開していただくことを提案しています。是非その活動記録を発表していただきたいと考えています。

今回はそうした活動への橋渡しとなる研究成果が得られましたのでご報告申し上げます。明生リハビリテーション病院の山中先生による「回復期リハビリテーション病院における認知症の実態調査」というテーマで、2月2日にリハビリテーション医学会関東地方会で発表したものであります。

研究方法は2012年4月1日から9月30日までに明生リハビリテーション病院に入院した150名を対象にして、全

員のMMSE、CDR、FAST、BPSD、IADL、WMS、FIMとGDSを検討したものです。それぞれの検査法は紙面の関係で掲載しませんが、すでに標準化された検査法であり、正確に認知症や軽度認知障害(MCI)あるいは正常認知機能と診断しております。十分な画像データがありませんでしたので、最終の臨床診断(アルツハイマー病や脳血管性認知症など)には至っていない症例がほとんどでした。

男性66名、女性84名の評価であり、年齢は39~104歳で80歳代が最多、評価が完全に行われなかった13名を除いた137名の解析がなされました。

MMSEの30点満点が13名(9%)、24~29点が41名で23点以下が83名でありました。また、CDRは0(正常)が52名、0.5(MCI)が35名で1~3(認知症)が55名でありました。BPSDは34名に認められました。

これらのデータからおわかりのように、認知症は40%で、MCIも加えると65%ということになります。BPSDは行動・心理症状で妄想、幻覚、暴力行為などの症状を意味しますが、25%が認知症に基づく問題行動を呈していたということになります。

また、前医で紹介状に認知機能低下の記載があった症例は11%にとどまっています。

以上のように今回の解析から、回復期リハには常にかなり多くの認知機能低下例が入院してきているのがおわかりになるかと存じます。しかも認知機能の低下が前医では見逃されていることが多く、入院時での正確な評価の下にリハビリテーション計画が立案されなければならないと強く感じています。

次回は当方が行っているリハビリテーションによって、どのように認知機能が変化していくのか、具体的な検査結果の推移をご紹介します。

略語解説

MMSE (Mini-Mental State Examination) : 認知機能テスト(検査)
CDR (Clinical Dementia Rating) : 臨床的認知症尺度
FAST (Functional Assessment of Staging) : 認知障害日常生活機能評価
BPSD (Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia) : 認知症における行動心理学的症状
IADL (Instrumental Activity of Daily Living) : 手段的日常生活動作。ADLよりも積極的な生活行為
WMS (Wechsler Memory Scale) : ウェクスラー式の記憶検査
FIM (Functional Independence Measure) : 機能的自立度評価表
GDS (Geriatric Dementia (Depression?) Scale) : 老年期うつ尺度
MCI (Mild Cognitive Impairment) : 軽度認知機能障害

次号につづく

表紙解説

狭山茶について

さわやかな香りと、
こくのある狭山茶

狭山茶の特色

狭山茶は、他産地より寒冷のため、越冬茶葉が自然に厚くなります。また、他産地が年3~4回摘採するのに対し、狭山茶では年2回となっています。このことが狭山茶の特色であるコク味を出しています。

仕上加工(二次加工)は古来より「狭山火入れ」と称される独特の火入れ技術が生かされています。消費地の中の産地のため、販売は製造直売型が多くなっています。

主として、やぶきた、さやまかおり、ふくみどりなどの優良品種で作られています。



狭山茶のおいしい飲み方 一せん茶一

湯温は70~80℃。上級になるに従い低めに。茶葉の量は5人で10グラム。

時間は好みによりますが、普通1分弱。深むし茶は30秒位に。茶碗は暖めておき、必ず戻りつぎをし、絞りきります。

介護百人一首 Kaigo hyakuninisshu

「NHK介護百人一首 作品のご応募・お問い合わせ」
〒150-8328 東京都渋谷区宇田川町41-1 NHKサービスセンター「NHK介護百人一首係」
TEL 03-3464-5601(受付時間 平日午前10時から午後6時30分)
インターネットでも応募はじから <http://www.nhk.or.jp/heart-pj/event/>

特別養護老人ホームに入所した夫。かわいい介護職員さんに囲まれてご機嫌です。

やわらかな日差し溢れる特養に
私を忘れたあなたが笑う

ドライヤーの後、髪をとかして私がいつもデイサービスの利用者様に化粧水と乳液をつけてさしあげる。じわが美しく見える。肌にはツヤが出て、目に少し力が入ったように思う。この人の少女時代を想像する私。

入浴後乳液つけて肌光る
七十年前の少女に戻る

介護百人一首





明生リハビリテーション病院
リハビリアルバム



一般社団法人 巨樹の会

明生リハビリテーション病院

〒359-1106 埼玉県所沢市東狭山ヶ丘4-2681-2

[西武池袋線] 狭山ヶ丘駅東口下車 徒歩 15分

タクシーをご利用の場合

西武池袋線小手指駅北口より約5分

お問い合わせ

TEL 04-2929-2220

FAX 04-2939-2136

交通のご案内

